

メトレキサート錠2mg「タナベ」による治療を受ける患者さんへ

関節リウマチ治療に大切な薬 「メトレキサート」について



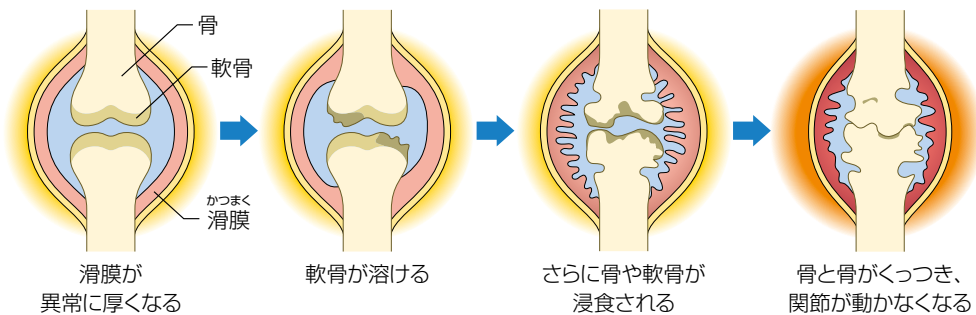
関節リウマチと 免疫



関節リウマチ(RA)は、全身のさまざまな関節に強い炎症が起こる病気です。どうして関節に炎症が起こるのか、その原因はまだ十分に解明されていませんが、これまでの研究によって、「免疫の異常」が深く関係していることがわかっています。免疫は細菌やウイルスなどの異物から私たちのからだを守るために備わったシステムですが、何らかの原因でシステムが正しく機能しなくなると、病気を起こす原因になることがあります。このように、免疫の異常がもとで起こる病気を「自己免疫疾患」といいます。

RAも自己免疫疾患の1つです。免疫の異常や炎症によって、激しい痛みや腫れが起きるだけでなく、関節が少しずつ壊されて、X線で見ても外から見ても関節が変形し、やがて動きの自由がうばわれてしまいます。これを「関節破壊」といいます。

関節破壊の進行



(X線写真)



監修：山中 寿 先生
 医療法人財団順和会 山王メディカルセンター 院長
 国際医療福祉大学医学部 リウマチ・膠原病内科学 教授
 東京女子医科大学 客員教授

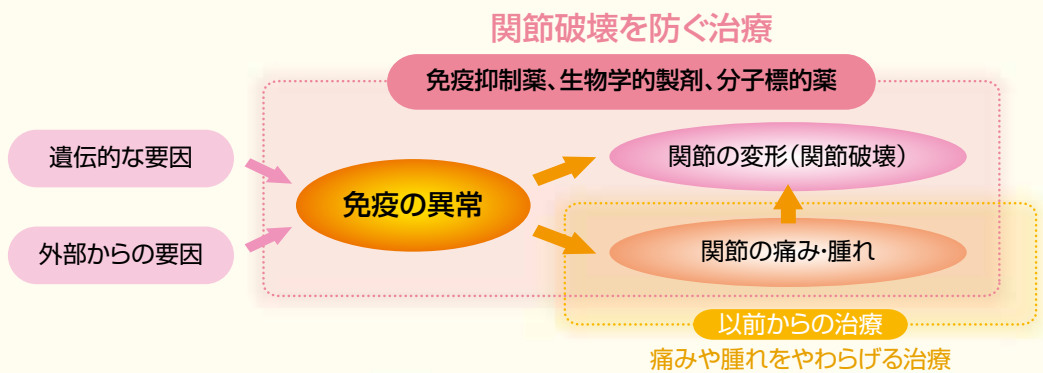
メトトレキサートによる 関節リウマチの 治療

.....



長い間、関節リウマチの治療は、関節の痛みや腫れをやわらげることが中心でした。しかし、最近は、免疫の異常をおさえて、炎症や関節の破壊をくい止めることをめざした治療へと変わってきています。そのため、RAを発症して間もない早期の段階から、免疫の異常をおさえる薬(免疫抑制薬)が使われます。

「メトトレキサート」は免疫抑制薬の1つで、関節の痛みや腫れ、こわばりをやわらげる効果が高く、関節破壊の進行をおさえる効果があります。また、最近の研究では、「寿命」という点でも、よい効果(延命効果)をもたらすことがわかってきました。そして、現在世界中のRA患者さんに最も多く投与されています。2011年2月には、日本でも世界中の多くの国々と同じような使い方ができるようになり、RA発症直後からメトトレキサートの治療を受けたり、ひとりひとりの患者さんに合った十分な量のメトトレキサートを使えるようになりました。メトトレキサートは今日のRA治療の基本的な薬として欠かせない大切な薬で、日本でも多くの患者さんの治療に使われています。



RAの経過観察のために行われる検査

いつ、どのような治療が必要なのかを知るためには、日頃の痛みや腫れなどの症状の強さだけでなく、炎症や骨の状態を総合的にチェックします。

検査の種類		基準値*	検査値の見方
血液検査	シーアールピー C R P	0.3mg/dL以下	炎症が強くなると値が高くなります。 (感染症などでも高くなります。)
	せっぽうきゅうちんこうそくど 赤血球沈降速度 (赤沈、ESR)	男性:2~10mm/hr 女性:3~15mm/hr	炎症が強くなると値が高くなります。
	エム・エム・ピースリー M M P - 3	男性:35~120ng/mL 女性:15~60ng/mL	値が高くなると関節が壊れやすくなります。
X線検査		—	骨など関節の状況を調べます。

* 測定方法によって異なることがあります。あくまで目安としてご利用ください。

監修: 山中 寿 先生
医療法人財団順和会 山王メディカルセンター 院長
国際医療福祉大学医学部 リウマチ・膠原病内科学 教授
東京女子医科大学 客員教授

メトレキサート錠2mg「タナベ」の 服用方法



メトレキサートの服用量は、
患者さんそれぞれの状態に合わせて、
「1週間単位」で決められます。
1週間に服用する回数、1回に服用する錠数は、
必ず医師の指示を守ってください。



1週間の服用スケジュールの例

1回に服用する錠数は、患者さんひとりひとりで異なります。医師の指示をよく聞き、1回に服用する錠数や、服用回数を間違えないよう、十分注意してください。

1週間に**1回**の場合

月			火	水	木	金	土	日
朝8:00	昼	夕20:00						
服用			← お薬をのまない日 →					

1週間に**2回**の場合

月			火	水	木	金	土	日
朝8:00	昼	夕20:00						
服用		服用	← お薬をのまない日 →					

1週間に**3回**の場合

月			火			水	木	金	土	日
朝8:00	昼	夕20:00	朝8:00	昼	夕20:00					
服用		服用	服用			← お薬をのまない日 →				

のみ忘れてしまったら

決められた日にのむのを忘れてしまっても、2回分を一度にのまないでください。のみ忘れに気づいたら、その分はとばして、次の決められた時間にいつもと同じ量をのんでください。



決められた量より多く飲んでしまったら

誤って決められた量よりも多く飲んでしまったら、すぐに主治医または薬剤師に連絡してください。



大切な薬だから、 安全に、長く 使い続けるために



メトトレキサートは、RA治療の大切な薬であることをお話ししました。大切な薬を安全に、長く使い続けるためには、副作用についても知っておくことが大事です。

肺、肝臓、腎臓、血液などに副作用の徴候がないかどうかチェックするために、定期的に血液検査や胸部のX線撮影を行います。また、副作用を予防するために、葉酸(ようさん)という薬と一緒に服用することもあります。

こうした病院でのケアも大切ですが、「いつもと違うな」と思う症状があったら、メトトレキサートの服用を止めて、すぐに主治医または薬剤師に連絡してください。

また、インフルエンザに罹患したりして体調が悪かったり、高い熱が出たりしたときには、メトトレキサートの服用を一時中止しましょう。



重要な副作用と早期発見のための定期検査

- 感染症
- 肺に起こる副作用(間質性肺炎、肺線維症など)
- 肝臓に起こる副作用(劇症肝炎、肝不全など)
- 腎臓に起こる副作用(急性腎不全、尿細管壊死など)
- 血液の異常(骨髄抑制)

- 血液検査
- 尿検査
- 肺のX線撮影やCT撮影

次のような症状に気がいたら、服用を止めて、
すぐに主治医または薬剤師にご連絡ください

カゼのような症状

熱、咳、喉の痛み、息切れ、
息苦しい など

からだ全体の調子

からだがだるい、疲れやすい、
食欲がない、お腹がひどく痛む、
下痢、吐き気、むくみ、
めまい、尿量が減る など



皮膚の異常

発しん、かゆみ、紅斑、
水ぶくれ、青あざ、
皮下出血 など

その他

口内炎、出血しやすい
(鼻血、歯ぐきの出血など)、
皮膚や白目が黄色くなる
など

他の疾患に罹患したとき

インフルエンザ、ノロウイルス感染症、
気管支炎、ひどい下痢 など

メトトレキサートの服用期間に注意しなければならないこと

メトトレキサートを服用している間は、服用しているご本人あるいはパートナー(服用者が男性の場合)が妊娠しないように注意してください。妊娠を希望する場合は、主治医にご相談ください。

MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing a memo.





監 修

山中 寿 先生

医療法人財団順和会 山王メディカルセンター 院長

国際医療福祉大学医学部 リウマチ・膠原病内科学 教授

東京女子医科大学 客員教授

